広報　第13号
町のすがた
（4月1日現在）

人口	男	3,498人
	女	3,837人
	計	7,335人
世帯数		1,553

三島町だより

発行　昭和44年4月15日
新潟県三島郡
三島町役場
TEL 脇野町局
（代）340
（夜）1

印刷　北越印刷株式会社
長岡市福住1丁目
TEL (3)0306

僕も今日から一年生

皆んなの愛情につつまれて
よく学びよくあそべ
交通事故にも注意して!!

合理化される　事務機構

住民基本台帳制度の施行に伴ない町民サービスの向上のため役場の事務機構を改善いたしました。皆様が受付係のところにおいでになると、戸籍、国保、年金、税金、福祉のほか、なんでも相談に応じる相談係も配置しました。

総務課　課長　斉藤　栄
　係長　片桐　藤作
　同　南雲　君子
　同　井上　栄子
　同　小林　孝司
　同　青柳　術
　同　大滝　ヨシ
　同　難毎　平八
　係長　酒井鉄之助
　同　関　シズエ
　係　小熊　静子
　係長　米持　昭次
　同　小熊　稔
民生課　課長　小熊　孫次
　係長　田中　昭和
　係　西　恭子
　同　松井　ユリ
　係長　奈良場　一
　係　斎藤　佐一
　同　原　文一
　同　樺沢まり子
　同　山村　イシ
　課長　兼務
　係　古見　義男
　同　相田ヒデ子
　同　青柳　三次
　係　大矢　善子
　同　斎藤　睦郎
　係　上村フミエ
　同　野島マツイ

（　）
天津保育所
保母　新任　佐藤　君子
ひばり保育所
保母　新任　原　富子

企画　財政　課長　佐藤　君子
消費者　財政　係長　井上　勝三
文書　管財　係長　片野　昇
行政　契約　相談　係長　片野　昇
庶務　統計　調査　係長　井上　勝三
防災　住民　相談　係長　片野　昇
交通　防犯　課長　原　富子
共済　課長　遠藤　栄門
車両　係長　石黒　和衛
電話　係　柳　昇
農業　農業　同　木戸　保之
商工　商工　同　帆刈　忠
観光　指導　同　大滝　祐
農林　農林　係長　近藤　豊司
建築　公共　同　河内　孝作
農林　建設　係　難波　正
建設　機械　同　古井丸保雄
同　佐藤　千尋
同　小熊佐太夫
係長　棚橋　均
会計　係　柳　昇
収入役室　係長　木戸　保之
係　帆刈　忠
議会事務局　局長　井上　智秀
選挙　監査　係　米山　郁子
教育委員会（体育館）
教育長　河内武志智
学校　社会　係長　遠藤　栄助
青柳　昇
遠藤　克己
北原　功
八田　玲
原田　シヅ
小黒甚五郎
日吉支所支所長稲田惣一郎
係　西原　治一
連絡　矢川　ミヨ
水道課　課長　岡本　正雄
係　原田　洋衛
水道　同　風間　正美
同　星野　洋一
（保育所、給食、清掃略）

ガックリ年令は　毎日〝ながら〟体操で

国保衛生

健康で長生きしたいと思わない人はないでしょう。このためにはなんといっても、体力づくりを心がけることです。体力づくりは一口にいえば、栄養・運動・休養の三つが柱です。

昔から二十五歳の朝めし前まで体力が伸びるといわれていますが、これを過ぎるとなだらかなカーブを描いてゆく。ところが、ある時期に急激に体力が落ちます。

それは男が四十二歳、女が三十九歳、体力づくりでは「ガックリ年令」と言います。そこで、この急激な体力低下をふせぐためのつっかえ棒が必要となってきます。これにはいろいろの方法がありますが、じょうずな運動の仕方と休養の仕方について考えてみましょう。

年をとることを「フケル」といい、老化視察ということばがあります。これは年をとるにつれて次第にからだが〝にぶく〟〝かたく〟〝よわく〟なってくることです。

からだの神経も使わないでいるとだんだん働きが鈍くなり、しまいには動かなくなります。老化現象のテストをしましょう。右手は開いて胸に、これを交互にすばやく繰り返します。なかなかうまくできないものです。

これは神経が鈍くなってきた証拠です。もう一つ、両手を背中にまわして握手。立ってからだを前にまげ手を床につける。からだを後ろにまげて、後が見えるかためしてみる。なかなか思うようにできないのはこれもからだがかたくなってきた証拠です。

血液の流れをよく

休養をとるのは、ただじっとして休むのではなく、積極的に疲れをとることが大切です。疲れることは簡単にいえばそこに血がたまることです。このたまった血をほかへ流してやることが疲れを早くなおすコツです。特に血のたまりやすいところは、首と肩、腰、それに足です。

首をまげる、肩、腰、足をたたく、手を上に体を横にまげるなど、からだをまげたり、伸ばしたり、たたいたりするのが簡単な体操ということなので、何もむつかしい体操でなくともよいわけです。そしてこの体操を朝起きながら、歩きながら、仕事をしながらやる。それで〝なが体操〟というわけです。

また、体操は毎日続けないと効果がありません。体操の日掛け貯金をして、からだの財産づくりというわけです。また、三十五歳を過ぎて太ってくるのは、からだの中のやりくりがうまくゆかず、余分の栄養が脂肪となって皮下だけでなく、内臓のまわりについてくるのです。成人病の原因ともなるので、適当な仕事や運動をすることが大切ということになります。

塩分は少なめに

そこで、毎日の家庭の食事について考えてみましょう。

とかく朝と昼は簡単にすませていないでしょうか。豪華な夕食のうち一品でも朝にまわすようにしたいものです。

六つの基礎食品のうち、一般的に一群（緑や黄の濃い野菜）、三群（肉、卵、魚、大豆類）、五群（乳類）のとり方が少ないそうです。とくに牛乳はお茶がわりに飲むくらいにしたいものです。

最近の調査では女性の体重を年令別にみると、二十歳が頂点で二十五歳から三十五歳が低くなり、その後カーブが高くなり、ゆるく下がっていく傾向がわかりました。これは二十歳を過ぎるとスマートになりたい一心で、無理にやせている傾向があるといわれます。むしろこの年代は結婚、育児の大事な時期なので大いに考える必要があります。

また、米どころの本県ではお米がおいしいので塩からいつけ物、醤油汁など塩分をとりすぎ、高血圧の原因になっています。

お互い前述の〝ながら体操〟を毎日やり、食事は栄養を考えて、休養（疲れをとりさる）を充分とって健康で長生きいたしましょう。

住民窓口相談室

戸籍筆頭者をかえたい

Y

問　わたしの家の戸籍筆頭者は父になっていますが、父はすでに高年齢で、事実隔居しています。

わたしは未婚ではありますが、一家の中心となっているので、戸籍筆頭者になりたいと思います。

そういうことができますか、また、どんな手続きをしたらいいのでしょうか。

答　父親と戸籍を別にして、分籍をすればあなたが筆頭者になることはできますが、同じ戸籍内にあって筆頭者だけをかえるという方法はありません。

戦前の法律では、戸主である父親が隔居手続きをとって長男が戸主になれば、「一家」制度とはなんの関係もなく戸籍のはじめに書かれるかもしれませんが、現在の戸籍簿は一人ずつのものでなく、夫婦とこれと姓を同じくなる子供で一戸籍を作ることにしているため戸籍内の筆頭者をきめておれば、当然に父親とは別戸籍になるわけですから、あまり戸籍にこだわらないようにすべきだと思います。

なお、婚姻届の際には、必ず夫婦の氏を夫の氏にするかをきめるか妻の氏にするかをきめるようなものだと考えてよいでしょう。

いという人は、筆頭者の氏名で簡単に捜し出すことができて便利です。

ですから、戸籍筆頭者というのは、一種の見出しのようなものだと考えてよいでしょう。

四月の衛生行事

月日	種目	対象	ところ	とき
4・24	乳児検診	生後3ヶ月～一年未満	役場	3・0～15・0
4・24	家族計画	一般	同	13・0～15・0
5・8	妊婦検診	一般	同	13・0～15・0

緑の羽根募金にご協力を

今年も四月一日～四月三十日にかけて、緑の羽根街頭募金運動が生徒を中心に行なわれます。

国土の緑化・校庭の緑化・学校林の造成や都市の美化あるいは資源の増殖に有益な鳥獣の保護を行なおうというものであります。みんなで協力してください。

燃えないものを入れないで

焼却場

最近ごみの中にもいないもの（灰・セトモノ・土塊等）が混入してだされる人があります、係員も大変困っております。

また、焼却「かま」の損傷もはなはだしいものがありますので、ごみの収集にご協力ください。

編集部より

広報三島町だよりも皆様の深いごりかいと、あたたかいご支援にはぐくまれ、満一歳になりました。

厚く御礼を申上げますと共により以上のご協力とご支援をお願い申上げます。

また、住民の声、窓口相談、そしてまた、建設的な皆さんの積極的な声を、どしどしおよせくださるようお願いいたします。

一般会計

44年度予算のあらまし

体育館の施設整備も積極的に

道路整備

昭和四十四年度の予算を決める第一回定例議会は、三月四日に始まり、慎重審議の結果三月十八日に議決されました。

新年度予算は一般会計で一億八千六百五十一万九千円の規模となり、昨年度に実施した体育館建設に伴う施設の整備など、苦しい財源の中で、できるだけ冗費の節減を図り次のような事業を計画しております。

◎体育館の施設整備

昨年度建設した体育館は立派に本体が完成しましたが、本年度はこの施設を最大限に生かすため、施設の内容充実を図り、運動用具を始めとする備品類、放送設備、周囲の整備など約五百万円を計上し、早期に完成、活動ができるよう計画しております。

◎公共事業の促進

継続実施している県道の舗装改良等の事業は、昨年以上の事業を計画(要望)し中でも与板、関原線バイパス工事は一挙に長岡、出雲崎線に取り付くよう関係機関に要望しておりますのでこれが完成したならば体育館も尚一層活きるものであります。

(詳細五月号)

◎町道の整備

事業費約九百五十万円で気藤線、蓮花寺線、中条南線、日吉駅線の四線の整備を計画しております。

以上のほか、逆谷林道の開設工事一千百六十万円、土堰改良事業二百万円、消防施設で防火用水三ケ所とホース・ポンプなど、また教育関係では三島中学校理科教室の電気、ガス、水道工事を始め設備教材の充実を図っております。

また体育館の使用にあたり、一番先にお年寄りから、と四月下旬新装なった体育館で町全体の敬老会が行なわれることになっておりますす。

以上新年度予算における主な事業をかいつまんで申し上げましたが、今後共健全財政を堅持しながら積極的に住民のサービスに徹し明かるい、豊かな町造りのためまい進いたしますので皆様のご協力をお願いします。

予算の構成比 (一般会計)

昭和44年度三島町一般会計予算

単位千円

歳入 科目	予算額	歳出 科目	予算額
1. 町税	51,942	1. 議会費	8,037
2. 自動車取得税交付金	1,800	2. 総務費	36,686
3. 地方交付税	74,500	3. 民生費	15,571
4. 交付安全対策特別交付金	80	4. 衛生費	6,474
5. 分担金及び負担金	2,825	5. 農林水産業費	23,343
6. 使用料及び手数料	1,422	6. 商工費	7,556
7. 国庫支出金	28,728	7. 土木費	19,920
8. 県支出金	7,271	8. 消防費	7,591
9. 財産収入	593	9. 教育費	27,887
10. 寄付金	2,666	10. 災害復旧費	16,352
11. 繰越金	1,500	11. 公債費	11,417
12. 諸収入	6,192	12. 諸支出金	5,010
13. 町債	7,000	13. 予備費	675
合計	186,519	合計	186,519

国保特別会計

急増する医療費

国保予算は医療の給付を主体として編成されておりますが、近年医療費は著しい増嵩を示している現状であり、四十四年度では昨年度の十七・五%増を見込んでおります。

このため被保険者の負担が当然増大するわけですが、一般会計から五十万円の繰り入れを計上し、極力負担の軽減につとめ保険料は九・七%増に抑制しました。この点ご理解の上、何分のご協力をお願いいたします。

また、国保会計の健全化のため、医師会、歯科医師会の協力を得て、医療費の適正化を図るため、診療内容の審査を行なうとともに、保健婦による保健指導を行ない、病気の早期発見、早期治療に努めております。

昭和44年度三島町国保会計予算

単位千円

歳入	
国民健康保険料	20,551
国庫支出金	27,395
県支出金	500
繰入その他	750
合計	49,196
歳出	
総務費	3,184
保険給付費	44,095
保健施設費	1,171
予備費	500
合計	49,196

水道事業会計

効率的な事業経営に

地方公営企業法が適用されて第二年目である本年は、四十四年度の水道料金は前年のままとして予算を編成いたしましたが独立採算とはとれないため一般会計から五百万円(うち七十万円は消防施設に要する経費で一般会計が負担するもの)資本的支出額に対して不足額は、当年度分損益勘定留保資金で補てんする。

昭和44年度三島町水道事業会計予算

単位千円

収入	
事業収益	16,143
営業収益	11,121
営業外収益	5,022
資本的収入	0
支出	
事業費	16,376
営業費用	10,517
営業外費用	5,559
予備費	300
資本的支出	2,786
建設改良費	58
企業債償還金	2,728

交通災害共済組合に加入しよう

◉ ただいま51%・加入者数3,764人

◉ 5月分会費一般330円・中学生以下275円

申込は三島町役場総務課へ

昭43・重点施策とその成果

国保・衛生

1保育所の希望者全員入所の実現

保育所は、両親や家族が仕事等の関係で充分な保育のできない家庭の子どもを両親などにかわって保育する施設ですが、近年、就学前に集団生活を経験させておきたいと希望する家庭なども加わって、年々保育所への入所希望者が増加し、各町村とも保育所の設置が追いつかず大きな問題となっています。

三島町では四十三年四月一日から、脇野町保育園長さんはじめ関係者のご理解とご協力をえて、定員六十人を九十人に増員して、他町村にさきがけて希望者全員の入所を実現し、幼児の健全育成につとめております。

2保育所保母の育成

有資格保母による保育内容の充実のため、四十二年四月より就学資金を貸与して保母の育成につとめてきましたが、本年を以て二人の方が卒業され、この四月より保育所に勤務いたします。

3環境衛生、予防衛生の推進

健康な毎日を送ることは私達最大の願いであり、生活の基盤であります。ひとたび健康をそこなえば、本人の苦悩は勿論、家庭の幸福は失なわれます。

健康で明るく豊かな家庭や、町づくりのため、町民各位のご理解と、ご協力のもとに環境衛生事業の推進に努めました。

その成果等は次の項でご説明いたします。

4「町民の健康を守る会」の発足

健康は人に与えられるものではなく、自らの手でつくるものです。健康づくりのための保健衛生業務も、町民皆さんの「自分のために一という理解と自覚がなければ効果はありません。そこで、昨年皆さんのご協力のもとに「町民の健康を守る会」を発足いたしました。

この会では部落、町内の保健衛生事業の実践者として指導員の方二十六人を委嘱しました。この会の事業の推進目標成果は次のとおりで、すべての面で大きく前進したものと考えます。

今後尚一層のご協力をお願い申し上げます。

住民の声

考えられては、

農業振興策

新保　白倉　忠

何年かの思考選択期を入れて十七年、ようやく形だけは養鶏専業としてスタートしたが盆も正月もない。自分が生きる、それだけでせい一ぱいなのである。

我れわれの事業は停滞する事自体が、とりのこされ戦列から置きさられる。

この業界では只前進あるのみ、そんなことから「町の農業振興策」を考えてみた、第一に水田ろうが、私のような形態で業に帰らないというのであの基盤整備ということである。

過去に農業構造改善事業の候補地が、全部指定前の段階でくずれ去っている事は、残念であり、近い将来に於てなんらかの形で整備しなくてはなるまい、そって来る。金利と税金を払備しなくてはなるまい、そって来る。金利と税金を払ませんか。

免を三～五年くらいはしてほしい。

多額の借金で大きい設備を作る、とたんに、不動産の取得税・固定資産税・償却税の基盤整備ということである。

過去に農業構造改善事業の候補地が、全部指定前の段階でくずれ去っている事は、残念であり、近い将来に於てなんらかの形で整備しなくてはなるまい、そって来る。金利と税金を払ませんか。

あとつぎは多い程よい、他産業に転じたから一生農ではおじけずく。

あちこちで工場誘致の際は何年間かの免除育成措置を取っている、町でも考えて欲しい。

第三に後継者の教育である、過日普及所の先生の言によると、今年度高卒就農者は三島では〇だということである。

第二に水田経営のように数多くはないが、点在している果樹、畜産施設、園芸等の芽ばえしてきた経営を、強化育成して行く事だろう。「どうするか」という事は対象により異なるであろう。

労災保険年度の更新等を忘れずに

長岡労働基準監督署

今年も労災保険年度更新と保険料報告・保険料納入の時期がまいりました。

期限におくれないようにして、すべての手続きをすませるよう、協力ください。

(1)労災保険年度更新のため保険料報告書の提出は「**5月15日**」までに。

(2)保険料の納付は、保険料報告書提出の際に、報告書と同時に日本銀行歳入代理店か郵便局又は労働基準監督署に持参してください。

(3)労災保険事務組合へ事務委託されますと事業主やその家族が希望により、特別に加入出来る外事務の簡素化が図られ便利です。

(4)適用事業報告書を、毎年4月1日現在の労働者数を「4月末日」までに提出することになっています。

(5)取扱不明なことがらがあったら長岡労働基準監督署へお尋ねください(TEL 長岡2～1607～2～1608)

交通事故の証明は警察で

交通共済―見舞金請求の添付書類の中で「証人による事故証明書」がありますが、これは特例措置で原則として、警察署長の発行する交通事故証明書を添付することになっています。

道交法第72条では、車輌の運転者は、交通事故が起きた場合負傷者を救護し、危険を防止する等必要な措置を講じたうえ、警察官に交通事故発生の日時、場所及び状況を報告することになっており、それにより証明できることになっておりますので、事故に対しては重々に注意するとともに、事故発生による証明は必ず警察署長の証明をもらってください。

1. 環境衛生事業の推進 (1) 害虫駆除の薬剤散布

区分	数量 乳剤	油剤	回数 乳剤	油剤
42年度	1,115.0ℓ	1,712.0ℓ	295	51
43年度	1,316.2ℓ	2,005.0ℓ	353	66
%	118	117	120	129

このように20%前後の上昇成果を得ました。

大きく伸びたねずみの駆除数

年度	駆除数
41年度	993匹
42年度	1,193匹
43年度	1,702匹

今年も頑張ろう

撲滅

2. 予防衛生事業の成果

成人病検診を積極的に実施したり、予防展を開催する等成人病対策に努めました。

また、結核検診(レントゲン)受診率も昭和42年の94.4%をうわまわり昭和43年は95.8%を示しました。

3. 保険衛生事業の昂揚と健康づくりの推進成果

この成果は、病人が少なくなり医療費が少ないことです。

全国的にも全県的にも、医療費の伸び率は25%前後といわれますが、当町は、次のとおりです。

◉ 国保医療費の調査

昭和42年4月～1月～40,339,000円

昭和43年4月～1月～42,134,000円

上昇率　4.4%

4. 献血事業の普及徹底と協力

6月21日　応募者　128人　採血者　114人

10月4日　応募者　133人　採血者　115人

町民各位のご協力により、上記の成績を納め日赤支部より表彰されました。

5. 下水整備事業の推進と成果

昭和42年度に引き続き、脇野町4ケ所をはじめ吉崎、七日市、上岩井、藤川で9ケ所総工費約80万円を実施いたしました。

寝るまえに
たしかめましょう
火の元を

火の用心